

夏期研修会報告

「諏訪総合・生活科教育研究会」

会長 矢島 俊樹
研修係 山田 成美

カイク学習の魅力と可能性を探る

1 研修の概要

日 時 8月5日(金)

会 場 岡谷蚕糸博物館 シルクファクトおかや
(岡谷市郷田 1-4-8 Tel23-3489)

日程 ○現地集合 8:50

○研修 9:00~12:00

①「カイク学習の魅力と可能性について」

～学芸員さんの話

②施設見学

③体験(機織り、まわた、繭人形)

○解散 12:00

2 研修内容

体験を通して「カイク学習」の魅力自ら体感し、その可能性を探るということで、当日は小学校中学校合わせて14名の先生方の参加で行われた。

岡谷蚕糸博物館において学芸員さんから蚕糸業が盛んだった岡谷の歴史と文化、これからの蚕糸業の展望や、どのような形で学校教育に生かしていくか具体的な学習のヒントをたくさんいただいた。

岡谷の地に栄えた製糸の歴史と文化に触れるとともに、実際に繭や絹糸の手触りやぬくもりを肌で感じるよい機会になった。

体験では、教材研究として、糸取りや卓上旗織機による機織り、まわた作り、繭人形作りなどを体験し、作った繭人形を持ち帰ることができた。

参加者からは、蚕の学習が、飼育学習にとどまらず先人の苦労や知恵を学んだり郷土の歴史や文化にふれたり郷土愛につながることや、「命の学習」としての価値、製作活動を通して作る楽しみもあり、産業としての製糸業を考えるきっかけになるなど、様々な可能性があることに改めて気づかされた、という感想や、自分も機会があれば挑戦してみたい、学芸員さんたちの熱い思いに感動したという声も聞かれた。



